

年 月 日

## 2021年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 地球や

代表者・役職名 氏名 会長佐久間 恵子

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

世界のキッチン ～お菓子でいろいろな国を旅しよう～

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2019年より外国籍の方が多く多摩地区で、地域の住民を料理、音楽、スポーツ、文化を通じて、自然な形で国際交流を目指す。また、参加においては、スタッフ約10名が在籍しており、常に固定の人ではなく、イベントごとに自由参加としているので、どなたでも気軽に参加いただけます。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

- ・地元野菜、果物を使った食品で、心と体の健康を目指す。
- ・日本では地産度が低くても世界では有名でおいしいものがたくさんある。それを採れたて野菜と合わせて、多世代、多国籍の人が、講師として、生徒として参加することで地域交流に繋げる
- ・偏った食事バランスと外国に対する偏見を減らそう!
- ・海外を知ることで武蔵村山市の良さを再発見しよう!

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- ・世界のお菓子教室(少人数制)月1回×12か月=12回開催(講師代、場所代等で1か月2、3万円で開催)
- ・試食は料理教室のみ(教材費に含む)
- ・ネット配信を閲覧する方には、あらかじめ申請してもらい、HPよりアクセスしてもらおう
- ・料理教室の講師は、地元のレストランシェフや料理に精通する海外または日本の講師を迎える
- ・お菓子の背景、エピソードを講師に話していただく
- ・地元の売れない野菜、果物を材料として購入し、料理教室で使用
- ・2019年度料理教室でシュークリーム教室を開催予定だったが、コロナ自粛のため、中止となってしまった。実は、この回の参加予定者が15人を超えており、過去の料理教室で一番多い参加人数となる予定だったので、今回は是非取り入れたい

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

コロナ禍により、月1回開催を目指すも、外国人講師の入国が出来ない等の講師都合、会場都合による、人数制限等があったが、老若問わず、国籍問わず、いろいろな方に参加いただけた。SNS発信や、開催ごとにアンケートを取り、参加者のニーズに応えることで、参加者が増加した。世界の有名なお菓子だけでなく、文化、言葉等の背景を併せて勉強することで、興味を持っていただき、フードロス、外国に対する偏見が消え、人の輪が広がったことで、地域交流に繋がった。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

コロナ禍での実施は、いろいろな制限や衛生面のコストもかなりかかってしまったが、今後もこのようなプロジェクトの実施を継続していきたい。コロナ禍は緩和されてきたものの、まだまだ家にこもりがちである。このような状況を変えるためにも、今回のような国内、海外の人を問わず、地域で文化交流が出来れば、知らない世界を知り、自然な形で文化交流、地域交流につながると思う。外国の方に日本料理をふるまう機会なども設け、文化交流を発展させることで、地域を活性化させたい。

## 7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

